

令和 6 年度 沖縄市市政懇談会 事前質問回答

質問・要望・提言等	回答・対応等	担当部署
1. 中高校生の居場所作り 提案です。児童館は 18 歳まで対象とありますが、実際は小学生低学年が多くいて、中学生、高校生が活用出来る雰囲気はないような気がします。実際にあまり見たことがありません。夏休みなど中学生、高校生が集まれる居場所がありません。そこで、東京都調布市青少年ステーション CAP のように、中高校生世代のための児童館など、作れないでしょうか。健全な居場所があれば、非行も少なくなると思います。沖縄市は、非行の少年少女も多いと聞きます。 場所は、安慶田児童館の 1 階を活用して、沖縄市の子育て支援をしている NPO 団体などに委託してもいいと思います。こういったことに補助金を出してほしいです。 もう一つの場所の候補として、各自治会で居場所作りが出来てもいいと思います。 ただ、自治会任せにすると負担が大きいので、教育委員会と連携しても面白いかなと思います。	ご意見ありがとうございます。 児童館は 18 歳までの児童が自由に出入りできる施設です。おもに遊戯室（小規模の体育館）において、種目別、年齢別でプログラムを組み、こども達が活発に過ごしております。 あげだ児童館は小学校に隣接しているため、ご意見にもありますように小学生の利用が多い児童館であり、他の児童館に比べると少ないですが中高生の利用もあります。 児童館とは別に、近隣地域で中学生・高校生の生徒向けこどもの居場所として、市が実施している委託事業と民間団体が実施している第三の居場所の二つがあります。 塾に通うには経済的に厳しい世帯で、基礎学力が身についておらず学習支援を必要とする生徒については、照屋にある「おこすこや」の利用が可能です。また、銀天街にある「E.C.L」という名称の第三の居場所については、週 3 日（月・水・金）の 14 時～20 時に開所しており、中高生を含む 25 歳までの若者が利用可能です。 ご提案にあります、あげだ児童館 1 階の活用についてでございますが、床面改修補修の必要性があることから、次年度以降に改修補修を行う予定をしております。中高年生の居場所作りについては今後の活用案の一つとして検討してまいります。 ご提案ありがとうございました。	子ども家庭課（こども相談・健康課）
2. ベビーのミルク 貧困のため、満足にベビーにミルク	現在市に寄せられる寄附金等を活用	こども相談・健康

を与えられない親がいます。(沖縄市にも何人かいます)緊急の時に福祉関係に相談しても、何日もかかるのだとか。緊急といえば、この 2～3 日のことです。それなのにすぐ対応してもらえないとベビーはどうなるのでしょうか？この事をご検討くださるようお願いいたします。	し、粉ミルクや紙おむつ等のベビー用品を購入しており、必要な世帯への配布を行っております。 保護者等から相談があれば速やかに対応できるよう準備をしておりますので、こども相談・健康課を案内してくださるよう宜しくお願い致します。 【問い合わせ先】沖縄市役所 2階 こども相談・健康課（こども家庭センター） こども相談係 直通電話：098-929-3135	課
3. 横断歩道の植栽について 泡瀬小学校の通学路の横断歩道近くにある花壇について、草木が伸びすぎて人が隠れてしまう危険な箇所があります。ドライバーも手前まで来ないと判断がつかない場面が多く、除草などの管理を徹底して頂きたい。 特に「泡瀬3丁目通り」「泡瀬第一医院通り」。	要請のある「泡瀬3丁目通り」「泡瀬第一医院通り」は、草木が繁茂し、歩行者や車両の通行に支障を確認しており、令和6年11月から12月に除草作業を行ったところでございます。 市内には約 1,750 路線、総延長約 380 kmの市道が存在しており、そのうち植樹帯のある路線には多数の低木・高木の植栽がございます。 市道の除草や剪定は、民間業者委託と本市現場作業員に加えて、地域の方々による道路愛護団体などにより実施しており、通学路などの危険箇所では、緊急を要す箇所などにつきましては、優先順位をつけ、順次対応しているところでありますが、除草面積が広いことや剪定本数が多いことから、要請を受けてから対応までに時間を要している現状にあります。 今後は、より除草や剪定の頻度を増やすための財源確保に努めるとともに、防草材の敷設等による防草対策を実施しながら、道路の適切な維持管理に取り組んでまいります。	道路課
4. 歩道の植栽管理について 市内の歩道の植栽はのび放題の箇所	歩道上の花壇は、通行車両による粉	道路課

がとても多く景観を著しく損なっています。また、住民の善意から植えられたであろう草木も管理が放棄されたと思われる箇所が多く、景観を損なっています。駐車場から出る際にも草木がブラインドとなり、事故も想定される危ない場面もあり、安全、景観の両面から早急の対応が必要です。そこで提案ですが、 ①横断歩道前後 30m の花壇を撤去または下草で管理する ②花壇の多くを埋め戻すか縮小して管理をし易くする 期待する効果 ①景観保全と歩行者の安全確保 *ドライバーから歩行者の動きがよく分かる ②管理費の支出削減 *道路管理に係る人手と予算の大幅な削減	塵や排気ガス、騒音等を軽減する役割の他、横断歩道以外の場所から車道を横断しようとする方の事故抑止にも繋がるものと考えておりますが、「花壇の撤去や埋め戻し」のご提案を真摯に受け止め、まずは地域の自治会で相談をして頂き、その上で自治会から市に対してのご要望としてお預かりし、検討を行いたいと思います。 また、市内には約 1,750 路線、総延長約 380 kmの市道が存在しており、そのうち植樹帯のある路線には多数の低木・高木の植栽がございます。 市道の除草や剪定は、民間業者委託と本市現場作業員に加えて、地域の方々による道路愛護団体などにより実施しており、通学路などの危険箇所では緊急を要す箇所などにつきましては、優先順位をつけ、順次対応しているところでありますが、除草面積が広いことや剪定本数が多いことから、要請を受けてから対応までに時間を要している現状にあります。 今後は、より除草や剪定の頻度を増やすための財源確保に努めるとともに、防草材の敷設等による防草対策を実施しながら、道路の適切な維持管理に取り組んでまいります。	
5. 黒潮公園の草刈りをもう少し頻繁にやってほしい 暑い中、草刈り作業を請け負ってくださる業者の方々には感謝しております。しかし、いつも草が 50cm～1m くらいまで伸びています。今年の 8 月は丸々1 ヶ月間程子供達も遊べないほど(約 80cm～1m)草が伸び放題でした。草がこんなにも伸びているとヘビがいるかもしれませんし、なにか危険なもの落ちていても気付けませんし、子	令和 6 年度夏季・秋季については、例年より草が伸びるのが早い状況がございました。 黒潮公園を含む市内公園においては草刈り作業が行き届かない状況がございましたので利用者へ不便をおかけしており申し訳ございません。 草刈りの頻度を増やすことや手押し式草刈り機の導入などについて、今後、	公園みどり課

供達は安全に遊ぶことはできません。業者さんたちの草刈りの様子を見ると、大勢の方が暑い中手持ちハンドル式の草刈機で草刈り作業をしています。 黒潮公園のような大きな規模の公園は手押し式やトラクター式の草刈機も導入したほうが良いのではないのでしょうか。予算などの関係もあるかと思いますが、夏はすごく暑いですし、機械を導入して、もっと頻繁に草刈り作業を行えば効率良く作業ができると思います。	委託先の沖縄市シルバー人材センターと協議して参りたいと考えております。	
6. 黒潮公園の遊具 黒潮公園の遊具は今閉鎖されていますが、今後の改修予定などについて教えてください。	黒潮公園の遊具につきましては、老朽化が進んでいるため、現在、安全面を考慮し使用禁止としております。 そのため、今後、改修工事を予定しておりますが、予算を十分に確保できないことから未実施な状況となっております。 引き続き予算確保に努めてまいりますが、改修工事に必要な分を確保できなかった場合は、撤去工事のみの実施も検討してまいります。	公園みどり課
7. 泡瀬小学校のための津波避難タワーを要望 沖縄市でも泡瀬小学校でも、高原比屋根までの避難を考えてくださっていますが、600 名以上の小学生たち全員が安全に高原比屋根地区まで避難できるかは現実的に考えると相当大変なことだと思います。泡瀬小から比屋根交差点まで大人の足でも 20 分以上はかかります。いざという時に、近くのアパートに垂直避難するのか高原比屋根まで避難するのか判断をしなければいけない校長先生や泡瀬小の先生たちに	津波避難時においては、津波襲来後の孤立等を防ぐため、まずは遠くの高台などを目指し、津波到達までの時間的な猶予がない場合の最終手段として垂直避難することが求められます。 本市においては、現在、23 の津波避難ビルを指定しておりますが、垂直避難場所確保のため、東部地域内に新たに建設されたマンションなどを対象に、津波避難ビルの追加指定に向けて取り組んでおります。	防災課

のしかかる責任も計り知れません。 せめて小学生全員が安全に迅速に垂直避難ができる 5 階建て以上の頑丈な建物を小学校の敷地内に作って欲しいです。	泡瀬小学校の児童及び先生方が安全に避難できるよう、引き続き、学校側と連携を図り、今後の必要な対策等について検討していきたいと考えておりますので、ご理解頂きますよう、よろしくお願いいたします。	
8. 沖縄市東部地区に市立図書館分館を希望 イオンタウン泡瀬の TSUTAYA が閉店して空き店舗になっています。そこに市立図書館や学習室ができるといいなと小学生の娘が希望しています。娘の友達も希望しています。	沖縄市立図書館は、沖縄市中央に位置する BC コザに移転してから、7 年が経過しておりますが、目標蔵書数に達していないことや施設改修など図書館機能が充足しているとは言えない状況にあります。 そのため、市立図書館の充実に注力する必要があると考えており、今後、目標蔵書数の充足や施設が改善され、図書館機能が整いましたら、分館を検討してまいります。 つきましては、市立図書館の分館に代わる機能として移動図書館「ちえぞう君」を巡回してまいりますので、そちらをご利用いただきますようお願い申し上げます。 これからも、市民の知的好奇心に応えるために職員一同努めてまいりますので、沖縄市立図書館をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。	市立図書館